

# 高師小学校の ESD 活動

## <活動の概要>

本校では、総合的な学習の時間や生活科・社会科等で地域学習と行事とを関連づけた活動に取り組んでいます。地域素材である「人」「もの」「自然」に目を向け、地域から学ぶことにより、地域や学校によさに気づき、誇りや愛着心を育み、人とのつながりを深めています。そして、自分たちが住む地域や身のまわりの事象、人々の生き方について関わりながら把握し、課題を見つけ、問題解決に向けて自ら動きだす子どもの育成を目指しています。

## ・活動の実際

### ① 地域に学ぶ活動

#### （わたしたちの町再発見 3年）

3年生は例年、校区の農家を見学する「わたしの町再発見」を行っています。校区で気になっている農家の中から見学場所を決め、見学に行っています。本年度は「わたしたちの校区自慢」と題して、子どもたち自ら校区の自慢できるものを探しに出かけました。さまざまな場所で、働く人の姿や、たくさんの方の思いに触れ、高師校区のよさを再発見できました。

子どもたちは、「個々が見つけた自慢が一番ではなく、自慢することがたくさんある高師校区こそ一番だ。」という思いがもてました。

多くの校区自慢を発表する中で、「ぼくたちの校区にはこんなにたくさん自慢できることがあるね。」「まだまだあるよ。高師のすてきなところをもっと探してみたいな。」「もっと詳しく紹介していきたいな。」という声が聞かれました。校区を愛する子どもたちが育ってきています。



大葉収穫に真剣に取り組む子どもたち

### ② よりよい生き方について考える（もっとウェルビーイングな自分や仲間へ 6年）

6年生は、「ウェルビーイング」について学んだことで、「自分が心も体も健康でいれたら、自分自身だけでなく、周りの人も幸せにすることができる」という思いをもち、「もっとウェルビーイングな取り組みをしていこう」と一人一人が具体的なアクションプランを立てて目標を達成していきました。よい生活習慣づけができたり、身近な人へ感謝の言葉を伝えたりすることで、自分自身も身近な人も幸せに生きていく方法に気づき、下級生や保護者へ自分の成長を伝えることができました。ウェルビーイングな考え方が、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育んでいます。



「自分の心の成長を伝える子どもたち」

### ③ 安心・安全な地域を共につくる（地震への備え 4年、水害への備え 5年）

4年生は例年、「南海トラフ地震」を想定して、防災危機管理課のかたに防災や減災についての話を聞いたり、起震車体験をさせてもらったりしています。子どもたちは、「高師校区で大きな地震が起こったらどうなるのだろうか」という思いをもち、地域の防災倉庫や避難所について調べ、伝え合う活動をしました。

5年生では、6月に校区で起きた水害の被害について調べました。地域の人々や専門家と校区調査に行き、浸水した場所や越水した梅田川を見ました。災害時の状況と比べ、「もっと大きな水害が高師校区に起きたらどうなるのだろうか」と考え、「高師校区防災会議」を開きました。地域に生きる自分たちに何ができるのかを考えて行動する力を育むことができました。



「防災について地域の大人と話し合う子どもたち」